

起因物、事故の型：その他の環境等 - その他の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	13~14	デイサービスセンターにおいて、利用者（男性、69歳、認知症）が、1人で外に出ようとし、1回目は止めたが、2回目の時も止めに入ったところ、入口付近でいきなり利用者に左頬を思い切り3回叩かれ、そのあと首と頬に痛みを感じ、状態が良くなることもなく、目もかすむようになり悪化した。	59	130201	—
2	18~19	自社施設入居者宅室内において、就寝介助のため、認知症状のある入居者を誘導していたところ、所持していたPHS（ナースコール）が鳴り、入居者がそれを取ろうと掴みかかり、突き飛ばした。その際、転倒しそうになり、右手を床につけてしまった。また、立ち上がった後も右手を掴まれ捻られたため、負傷したものである。	66	130201	10~29
2	14~15	園児の散歩のため、勤務地より移動中、草木の茂ったところを歩いている時に蟬が飛来し、園児をかばおうとした際に右前腕を刺されてしまった。	23	130201	10~29
2	9~10	ライオン舎作業のため、飼育員が③の扉を開け手外展示場に出たところ、本来開いていない2つ扉が開いていて、外展示場にいた飼育員がライオンに噛まれる咬傷事故が発生した。	22	140309	10~29
2	18~19	客先に集金に行き、玄関脇の犬小屋に繋がれていた飼い犬に右手と左ふくらはぎを噛みつかれ咬傷負傷した。	75	80205	10~29
3	6~7	厩舎内で工作中、急に指の爪と皮膚の間に痛みを感じ、しばらく様子を見ていたが化膿してきた。	55	70101	1~9
3	17~18	病院の処置室内において、処置台の上で猫の処置をしている最中に、	34	170209	10~

		リードでつなぎ床で待機させていた犬に足を噛まれた。			29
4	17～ 18	駐車場2にて貨物搭載中に、逃げ出した犬を捕獲するため航空機貨物室内へ入った際、犬が興奮状態で体へ覆い被さってきて、左腕と右足を噛まれた。	35	50101	～ 9999
4	13～ 14	病室にて口腔ケアを介助施行中、認知症があり絶食点滴中の患者様に対し、口頭で開口を促し口を開けてもらったところに手袋をつけ、右手第2指にガーゼを巻いた手で口腔粘膜清掃をしようとした際に噛みつかれた。	34	130101	～ 299
5	10～ 11	エレベーターで36階の会場へ移動中に耳鳴りがし、頭痛、吐き気を感じた。しばらくすると右耳が聞こえなくなった。	34	170209	1～9
5	12～ 13	お客様宅に配達をしようと徒歩で玄関へ向かっていたところ、近所の人からリードを付けられようとしている最中の犬がいて、その犬がリードを付けられる前に被災者に気づき、近所の人を振り払って被災者に対して回るように向かって行き、左足首上部を噛まれた。	50	110101	～ 499
6	11～ 12	犬がゴミをあさっているのを止めようとして、その際に噛まれた。	43	80109	1～9
6	12～ 13	利用者（32歳男性、自閉症、噛みつき癖あり）の食事中、被災者は当該利用者の監視をしていたが、安全面を考慮して、利用者が手にしていた棒の使用をやめるよう依頼したところ、左肩を噛まれた。再度噛まれそうになったため避けたところ、左指を噛まれた。事故当時、同じテーブルには当該利用者、被災者の他にスタッフが3名同席していた。	36	130201	1～9
6	19～ 20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	130101	～ 9999
6	14～	台に載っているH鋼の仕上げ作業中、縦向き溶接を行った際、袖口から火の粉が入り、左肘付近に小規模（1mm）の火傷を負った。翌々日から水	29	11209	～

	15	ぶくれになり、潰して消毒を行ったが、数日後、朝から火傷した左肘付近が腫れ、病院にて処置を受けたところ、滑液包炎と診断された。			299
6	14~ 15	畦畔の草刈り作業中に、右腕を虫に刺され、腫れた。	63	60101	1~9
6	13~ 14	お客様の勤務先（自営）へ訪問した際、番犬に咬まれ、両手と右太ももを負傷した。	45	90103	300 ~ 499
6	17~ 18	お母さんコーナーで仔犬の授乳作業中、外の運動場で首輪が外れた柴犬が、リードに繋がれている柴犬とケンカしており、止めようとしたところ、首輪が外れている柴犬に噛まれてしまった。	47	80209	10~ 29
6	19~ 20	利用者が居室より出て来られ、歩行のため手すりに手をかけようとしたが届かず、転倒しそうになった。付き添いの被災者が右手で支えようと右手を差し出した際、利用者が被災者の右手を強く握り、掴んだ。その際に右手第4指と右手第5指を痛めた。結果的に利用者は転倒したが、大事には至らなかった。	54	130201	10~ 29
6	10~ 11	展示場から馬を寝小屋へ収容するために移動した際、1頭の馬が寄って来て、エサねだりをしてきた。「エサはないよ！」と声をかけ、馬から離れる間にいきなり後足で蹴られ、馬の左後足が右腕に当たり骨折した。	51	120109	50~ 99
7	14~15	桃、プラム、桜、梅などの樹木園内で、直径10cmほどの伐採された木を細かく切断し、枝葉を集積場まで一輪車にて運搬中、その運搬途中の草むらの中にいた蜂に触れ、刺された。救急車を呼び、その中で応急処置をしたが、腫れが酷かった。	72	140302	50~ 99
7	16~17	太陽光発電所除草工事現場に於いて、刈払機を使用して胸丈程の草の除草作業中、ズボンの上から蜂に刺され負傷した。1日入院し、翌日退院、翌々日も休業していたが、眼に違和感があった。	49	30309	1~9
7	12~13	1階食品売場で冷ケースの結露のふき取り作業中に、冷ケースの下から出	44	150101	30~

		てきたムカデに右手人差し指を噛まれた。腫れと痛みがひどかった。			49
7	16~17	荒廃した山林内で間伐作業に従事していた。間伐木（ヒノキ）を伐倒し、枝払い作業をしていたところ、地中よりスズメバチが飛来し右手首付近を刺された。	55	60201	1~9
7	15~16	樹木の剪定作業中、蜂の巣に気付かず蜂に刺され、まもなく動けなくなった。	37	30199	1~9
7	3~4	当該者外4名にて屋外にある変電設備箇所の断路器の検査であった。高温多湿（0時頃の気温29℃湿度91%）の中での作業であり、作業途中に持参した水分（お茶500ml1本）が無くなり、水分不足状態で断路器（地上から2.7m程度）に昇って作業していたところ、体調不良を感じたため、自力で降りてその場に座り込み、近くにいた作業員へ体調不良を訴えた。診断結果は、熱中症であった。	27	40101	100 ~ 299
7	8~9	訪問サービス利用者宅にて、利用者が疥癬とは知らずに清拭等の介助を行ったところ、両手から身体にかけて発疹と強い痒みを感じて受診した。しかし原因が解らず、1ヶ月服薬と塗り薬の治療で改善しなかったため、他の病院で受診したところ疥癬と診断された。	57	130201	10~ 29
7	2~3	第1工場内アダプターラインで、通常作業中、1工程にワークをセットするため、素材パレットからワークを取出すとき、工場の開いている窓から侵入した蜂が飛んで来て、作業着の上から右腕脇下を刺した。	48	170101	300 ~ 499
7	2~3	第1工場内アダプターラインで、通常作業中、1工程にワークをセットするため、素材パレットからワークを取出すとき、工場の開いている窓から侵入した蜂が飛んで来て、作業着の上から右腕脇下を刺した。	48	11502	50~ 99
7	9~10	ごみ収集の作業中、被災場所に設置してあるごみストッカーを開け、ごみを収集しようとしたところ、ストッカーの底にハチが複数おり、刺されてしまった。痛みを感じ、すぐに逃げたが、ハチが追ってきてさらに刺されてしまった。	45	150109	100 ~ 299
	10~	現場の南側足場にて、下から2段目でアスベスト除去作業中、約2cmの蜂			

7	11	が飛んできて、追い払うときに、右手で持っていたカッタースクレイパーが、左手の手の甲に当たり負傷した。	22	30209	1～9
7	10～ 11	ナスの収穫中、蛇に噛まれた。	61	60101	1～9
7	16～ 17	当社新農場準備のため、農場周りに生えている植木の枝落としや雑草の草刈りをした。作業終了時、首筋にダニのようなものに噛まれた跡が3か所見つかった。後日、発熱・倦怠感・吐き気・喉の痛みの症状が現れた。	71	70101	1～9
7	20～ 21	施設の敷地内にて、車両出入口のゲートの施錠をしているとき、右足を何かに噛まれたような激痛があり、救急車にて病院へ搬送され治療を受けた。受診の結果、ハブによる咬傷と診断された。	67	150101	50～ 99
9	9～ 10	豚の交配作業中、雌が動いてしまい、雄が雌を追いかけ動いたとき、雄が足を滑らせ、その際に被災者が足を踏まれ、抜こうとして右膝に負荷がかかり負傷した。	27	70101	1～9
9	16～ 17	3FAユニット食堂にて、Y利用者（男性）が他利用者（女性）の胸を触る行為があり、注意したが、再度触ろうとしたのでもう一度注意したところ怒り出した。女性利用者の側にいたところ、Y利用者が後ろから近づき不意打ちのような感じで右眼こめかみにパンチされた。	43	130201	100 ～ 299
9	12～ 13	荷物をお届けに行った際に、犬の散歩に行くためリールにつながれていた犬に荷物を飼い主に渡す時に、突然右手首と右足の太腿を噛みつかれて負傷したものである。	50	40301	30～ 49
9	9～ 10	船上にて魚曳網の網揚げを終えて選別作業中、埋もれていたエイに気がつかず右腕を刺され負傷した。	18	70201	1～9
9	8～9	工場にて、日常点検のため水道・電力メーター指針場所へ向かい検針していた際、耳元で虫の飛来音がしたので避けるため屈みこんだ時、背部で刺される感覚がした。その後執務室へ戻る途中で全身に痺れを感じ保健室で処置後、かかりつけの病院へ受診。その時点では本人の脊髄の持	47	11502	100 ～ 299

		病による痺れと判断されたが、翌日、吐き気症状があったため同病院を受診し、背部蜂刺症と診断された。			
9	14～ 15	社員4名と015BH（回転式グラップル）（端波ブロック箇所）灯台付近にて、先の台風で流れていた草木の撤去作業中、社員の右手中指第二関節付近にマムシが噛みついた。	24	30111	10～ 29
9	11～ 12	病院内手術室にてパートスタッフ1名で半野良猫の体重測定及びノミ・ダニ駆除の為、ケージからネット内に移す際暴れ出し、取り押さえようとして右手の人指し指、手の甲、腕に複数回受傷、右手、人指し指に痺れが残る。本来、野良猫の管理は慣れたスタッフ2名で保護手袋を着用し行うものとされていたが、周知されていなかった。	36	170209	1～9
10	12～ 13	トリマー業務中に犬に噛まれ、大丈夫かと思っていたが、我慢できない痛みがあった。右手小指第一関節を骨折していた。	21	170209	10～ 29
10	16～ 17	豚小屋でえさやり中に後方よりふくらはぎ両足を豚にかまれる。	57	60101	1～9
11	15～ 16	荷積中にボックス台車が転がって来て左足を轢かれてしまった。安全靴を履いていたものの、左足小指を骨折した。何で動いてきたかは不明である。	20	130201	50～ 99
11	11～ 12	自社作業場にて、当日の現場作業で余った材料を置き崩れないよう杭とハンマーで打ちつけていた際、目標を誤り、右手人差し指を杭に強く打ちつけ負傷した。	44	170101	1000 ～ 9999
11	16～ 17	乗客降車後、バス前扉に不具合があり、確認の為、ドアスイッチを扱い、開閉状態を点検しようとしていた。ドアスイッチを「閉」位置に操作したが、ドアが閉まらなかった為、車内側よりドアを触ったら勢い良く閉まり、そのまま左手を持って行かれ、挟まれてしまった。右手で非常コックを扱い手を抜くことが出来たが、左手に痺れと腫れがあり、念の為病院にて診察を受けた。診断の結果、左手背部打撲と診断された。	58	80209	1～9
		ウニのトゲが指に刺さり、何ともないと思い、症状も出なかったため、			

12	15~16	その後も仕事をしていたが、しばらくして痛みが発症し、手も腫れてきたため受診した。	27	70201	1~9
12	9~10	道路拡張工事の現場でU字溝蓋の加工中、エンジン付カッターで切断中に右耳が聞こえなくなってしまった。	53	30106	1~9
12	15~16	被災者は、被災当日、介護入浴サービスの業務の為、計6件の利用者宅を訪問し、浴槽に入った利用者に対し、側面から膝立ちの体勢で、洗体を行った。業務開始前には異常はなかったが、業務を続けるうちに左膝に違和感・痛みを覚えるようになり、業務終了時にはそれらがひどくなり、大きく腫れ曲がらなくなった。作業中に左膝に菌が入ったのではないかとの医師の見解を得た。	18	130201	10~29
12	14~15	重度認知症デイケア内にて、調子の悪い男性利用者が、声をかけた女性利用者の方へ向かわれたため、他のスタッフと一緒に声をかけながら間に入ると、急に立腹し、股間を3回程蹴られたため、他のスタッフと対応を代わった。蹴られた箇所は、以前から痛みのような違和感があったが、蹴られた後から痛みが酷くなった。	34	130101	100~299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)